

発がん原性試験の試験結果、対応状況等

平成25年6月1日現在

報告年度	吸入試験		経口投与試験	
	対象化学物質名	試験結果、対応状況等	対象化学物質名	試験結果、対応状況等
昭和62	1987 四塩化炭素	H3指針公示、H17改正		
昭和63	1988		m-フェニレンジアミン・ニ塩酸塩(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成元	1989 メチルプロミド(臭化メチル)	ラット、マウスともに発がん性なし		
平成2	1990		1, 4-ジオキサン(混水)	H4指針公示、H17改正
平成3	1991 1, 2-ジクロロエタン	H6指針公示、H17改正	p-クロロニトロベンゼン(パラニトロクロロベンゼン)(混餌)	H5指針公示、H17改正
平成4	1992 テトラクロロエチレン(パークロルエチレン)	H7指針公示、H17改正	1-クロロ-2, 4-ジニトロベンゼン(混餌)	ラットの雌雄に対する発がん性示唆
平成5	1993 クロロホルム	H7指針公示、H17改正		
平成6	1994		β-クロロプロピオン酸(3-クロロプロピオン酸)(混水)	ラットの雌に対する発がん性示唆
平成7	1995 p-ジクロロベンゼン	H8指針公示、H17改正	酢酸ビニル(混水)	H8指針公示、H17改正
平成8	1996 1, 1, 1-トリクロロエタン	H8指針公示、H17改正	ビフェニル(混餌)	H8指針公示、H17改正
平成9	1997 塩化メチル(クロロメタン)	ラットおよびマウスに対するがん原性を証明するための証拠としては不十分	1, 3, 5, 7-テトラアザトリシクロ(3, 3, 1, 1 ^{3,7})デカン(ウロロビン、ヘキサメチレンテトラミン)(混水)	マウスの雌に対する発がん性示唆
平成10	1998 メタリルクロライド(3-クロロ-2-メチル-1-プロペン)	ラットの雄に対するがん原性の不確実な証拠、雌に対するがん原性なし。マウスの雌雄に対するがん原性示唆。	アントラセン(混餌)	H13指針公示、H17改正
平成11	1999 ジクロロメタン(二塩化メチレン)	H13指針公示、H17改正		
平成12	2000 N, N-ジメチルホルムアミド	H17指針公示	グリオキサル(混水)	ラットの雌に対するがん原性の可能性を示唆するものの不確実な証拠
	2-ブテナール(クロトンアルデヒド)	H17指針公示	ヒドラジン-水化合物(混水)	H17指針公示
平成14	2002 2, 3-エポキシ-1-プロパノール(グリンドール)	H17指針公示	キノリン(1-アザナフタレン)(混水)	H17指針公示
平成15	2003 アリルクロリド(塩化アリル)	H23指針公示、H24改正	1, 4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン(混餌)	H17指針公示
	シクロヘキセン	ラット、マウスともに発がん性なし	アクリル酸=2-ヒドロキシエチル(混水)	ラットでは、雄に対するがん原性示唆、対するがん原性の不確実な証拠。マウスに対するがん原性なし。
平成16	2004 1-プロモ-3-クロロプロパン	H23指針公示、H24改正	o-フェニレンジアミンニ塩酸塩(混水)	H23指針公示、H24改正
平成17	2005 ノルマル-ブチル-2, 3-エポキシプロピルエーテル	H23指針公示、H24改正	p-ニトロアニソール(混餌)(パラメトキシニトロベンゼン、1-メトキシ-4-ニトロベンゼン)	H23指針公示、H24改正
	1, 2-ジクロロプロパン	H23指針公示、H24改正	2, 4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン(混餌)	H23指針公示、H24改正
平成18	2006 プロピオニトリル	ラット、マウスともに発がん性なし	アセト酢酸メチル(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成19	2007 1-プロモブタン(臭化ブチル)	H24指針公示	オルト-クロロニトロベンゼン(1-クロロ-2-ニトロベンゼン)(混餌)	H23指針公示、H24改正
平成20	2008 酢酸イソプロピル	ラットの雄に対し閾値のある発がん性あり 指針は策定しないが、リスク評価を実施予定 (H23年12月ばく露作業報告告示)	2-フェノキシエタノール(エチレンジグリコールモノフェニルエーテル)(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成21	2009 2, 4-ベンタンジオン(アセチルアセトン)	ラット、マウスともに発がん性なし	2-アミノ-4-クロロフェノール(混餌)	H24指針公示
平成22	2010 アクリル酸	ラット、マウスともに発がん性なし	2-メチル-1-プロパノール(イソブタノール)(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成23	2011 メチルアミン	H24年第1回有害性評価小検討会において検討し、ラット、マウスともに発がん性なしと評価された。	2-アミノエタノール(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成24	2012 N, N-ジメチルアセトアミド	平成25年度第1回有害性評価小検討会において検討し、ラット雄、マウス雌雄に対する発がん性あり → 指針策定予定	ジフェニルアミン(混餌)	ラットの雌雄及びラットの雄に対し閾値のある発がん性あり 指針は策定しないが、リスク評価を実施予定 (今後、ばく露作業報告告示予定)
			3-アミノフェノール	H24年第3回有害性評価小検討会において検討し、ラット、マウスともに発がん性なしと評価された。

(試験実施中の物質)

報告予定年度	吸入試験		経口投与試験	
	対象化学物質名	対応状況等	対象化学物質名	対応状況等
平成25	2013 エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート		4-tert-ブチルカテコール	平成25年度有害性評価小検討会で検討予定
平成26	2014 ○メタクリル酸2, 3-エポキシプロピル ○多層カーボンナノチューブ		4-クロロ-2-ニトロアニリン	
平成27	2015 アクroleイン			
平成28	2016 アクリル酸メチル			
平成29	2017 メタクリル酸ブチル			
平成30	2018 2-ブロモプロパン			